

事業評価票（監理団体への支出予算）

31	観光ボランティアの活用（産業労働局）	団体名	（公財）東京観光財団	区分	委託	25年度予算額	13,875 千円	24年度決算額	10,761 千円		
事業内容・団体への支出理由		<ul style="list-style-type: none"> 東京を訪れる旅行者のニーズに対応し利便性を向上するため、観光ボランティアを育成するとともに、ボランティアによる都内観光ルートガイドサービスの提供等を実施する。公平な立場で東京の観光振興の観点から業務を推進でき、訪都旅行者のニーズに適切に対応するための知識と経験を兼ね備えている等の理由から、当財団に委託している。 									
成果・決算状況・課題等		<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの活動を通じ、旅行者に「おもてなしの心」を伝えることで、東京での滞在を心地よいものとし、再び東京を訪れたい気持ちを醸成するとともに旅行者のロコミによる新規訪都旅行者の増大へと繋げる。 									
見積概要（局評価）		<ul style="list-style-type: none"> 観光ボランティアの活動支援及び観光ガイドサービスの実施に要する経費を要求する。 新たに2020年の東京五輪開催を見据えたボランティアの質・量両面からの拡充を図るための経費（「おもてなし親善大使」育成等）を要求する。 						拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
		26年度見積額						43,286 千円			
行政改革推進部評価		<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、公平な立場で都内観光ルートを構築するとともに、公益目的で登録するボランティアの育成管理を行うものであり、特定の旅行事業者や業種等に偏ることなく事業を実施する本財団への委託は妥当である。 今後は、オリンピック開催を見据えたボランティアの質・量の両面からの拡充を図るとともに、本財団の観光振興事業や観光関連団体等とのネットワークとの連携・連動に一層取り組む必要がある。 						適正性、実施状況等からの評価			
		拡大 充実		見直し 再構築		継続実施					
財務局評価		<ul style="list-style-type: none"> オリンピック開催を見据えたボランティアの拡充を平成26年度から段階的に行っていく必要がある。 今後拡大していくボランティアを有効に活用していくための仕組みづくりについて、早急に検討することを条件に見積額のとおり計上する。 						拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
		26年度予算額						43,286 千円			

32	環七地下調節池保守管理（建設局）	団体名	（公財）東京都公園協会	区分	委託	25年度予算額	137,897 千円	24年度決算額	116,466 千円		
事業内容・団体への支出理由		<ul style="list-style-type: none"> 神田川中流域の水害安全度を向上させるための施設である環七地下調節池の管理を委託している。 調節池への雨水流入時の排水・清掃は、水位状況等の河川の特性を把握した上で、都と連携して迅速かつ的確に行う必要がある。 そのため、河川管理に関するノウハウを有しており、河川行政を補完代行する唯一の団体である本協会へ管理を委託している。 									
成果・決算状況・課題等		<ul style="list-style-type: none"> 台風や豪雨による河川水流入時は、都との連携を図り迅速かつ的確に排水・清掃を実施している。 機械設備・監視設備等を点検し、異常等発見時には迅速に都に報告し、適正な修繕等を実施している。 このように、河川行政を補完し、施設を適正に維持管理することで都民の安全・安心を確保している。 									
見積概要（局評価）		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き適切な保守管理を実施するため、調節池清掃、機械監視設備保守、管理棟保守、機器修繕を行うに当たって必要な経費を計上する。 						拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
		26年度見積額						146,339 千円			
行政改革推進部評価		<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、24時間365日、排水・換気設備等の機械設備、監視制御設備、動力電源設備、水位計等の設備の一括管理を行うものである。 都市部のゲリラ豪雨による被害等を未然に防止するためにも、平常時だけではなく、非常時において適切に管理できる河川管理者の補完代行を行っている本協会への委託は妥当である。 						適正性、実施状況等からの評価			
		拡大 充実		見直し 再構築		継続実施					
財務局評価		<ul style="list-style-type: none"> これまでの本事業や他の施設における受託状況等からも、地下調節池の適切な管理運営を実施していると判断できるため、見積額のとおり計上する。 						拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
		26年度予算額						146,339 千円			